

1 品質 + 環境 は統合運用で効率化を図ろう

- (1) ISO 統合化の留意点 ~まず基本的な考え方を押さえておこう~
- (2) 製造業における統合化の成功事例、苦勞事例
- (3) 統合運用のための準備と手順 ~統合システム構築体制とスケジュール~
- (4) 統合化の効果を上げるための重要ポイント ~人としくみのバランス(統合)をめざせ~

2 統合化(統合マネジメントシステム構築)の具体的方法

- (1) 「品質」「環境」のそれぞれの内容
- (2) 「品質」と「環境」規格の共通部分を探そう ~要求事項の照らし合わせ~
- (3) 方針・目的・目標をどうまとめるか
- (4) プロセスアプローチの留意点
- (5) リスク評価の留意点
- (6) 何を統合システムのベースとすべきか? ~ISO9001 主体? ISO14001 主体?~
- (7) プロセス、インプット、アウトプットの特長
- (8) 効果的な文書統合のポイント

3 実践演習 統合システムのマニュアルを作る

ISO 文書作りの中でも、特に労力を使うのがマニュアル作り。それは、統合化マネジメントシステムでも同じです。どのようなマニュアルが、ムダなく有効か、について演習で考察いたします。

4 実践演習 ISO9001 と ISO14001 の文書様式の共通化

事例をもとに、文書、様式、記録類を統合すべきかどうか検討していただきます。ISO の統合化では、統合する部分と残しておく部分を分ける必要があります。そのコツを掴んでいただきます。

5 内部監査の統合運用のやり方

- (1) 内部監査員に求められる能力 ~ISO19011(監査のための指針)に関連して~
- (2) 統合システムを効果的に監査し、統合運用するノウハウ

6 統合システム受審のポイント

- (1) 統合マネジメントシステムの審査方法とメリット
- (2) 統合審査を受ける際の注意点
- (3) 審査機関変更のポイント

受講申込書

ISO統合化 セミナー

9001+14001の統合運用

会社名		所在地	〒 _____
電話		申込担当者(受講票・請求書のお送り先)	
FAX		所属・役職名	氏名
業種		_____	
受講者	氏名	所属部署名・役職名	ISO 取得状況(○をお付けください)
			ISO9001 (取得・未取得)
			ISO14001 (取得・未取得)
			OHSAS18001 (取得・未取得)

重複したムダを省き、効率よく運用する

ISO 品質 + 環境 9001 + 14001

Integrated Management

統合マニュアル、
共通手順・文書づくり

統合化セミナー

IMS 構築・運用のノウハウ

開催日時 2007年 5月9日(水) 10:00~17:00

会場 大阪府商工会館 6階研修室 (大阪市中央区南本町 4-3-6、地下鉄/本町駅⑩出口より直結)

講師 小野木 正人 氏 (ISOコンサルタント/株新環境経営研究所 代表取締役社長)

1958年生まれ。大手監査法人でISOコンサルタントとして活躍後、2003年に株新環境経営研究所を設立し、ISOコンサルタント、環境経営コンサルタント、企業内研修の講師、執筆活動を活発に行なっている。CEAR登録環境マネジメントシステム主任審査員、JIPDEC登録情報セキュリティマネジメントシステム主任審査員、技術士(環境部門、総合技術監理部門)。東京外国語大学、神戸山手大学の非常勤講師(環境経営論)も務める。

受講費 1名につき 会員企業の方 24,150円 (消費税1,150円を含みます)
非会員企業の方 29,400円 (消費税1,400円を含みます)

振込銀行 [三井住友] 備後町支店(当)No.201068 [三菱東京UFJ] 信濃橋支店(当)No.321966 [りそな] 大阪営業部(当)No.1027054

申込方法 裏面の受講申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送またはFAXで当協会宛てにお申込みください。折り返し、受講票(会場案内図付)・請求書・振込用紙などを送付いたします。

※ 開催当日・前日の受講キャンセルについては、受講費を全額ご負担いただきますので、代理の方の出席をお願いいたします。

※ 申込書にご記入いただいた内容は、事務処理(受講票・請求書の発行等)及び当協会のセミナー案内の送付に利用させていただきます場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の場合は、当協会までご連絡ください。

統合化の要となる『文書の統合化/マニュアル作り』、 模擬演習でポイントを掴んでいただきます

ISO9001、ISO14001の2つのマネジメントシステムを運用する事業所が増えています。しかし、それぞれを別々に運用・管理しているため、効率が悪く、手間ばかりかかり、「ISOに翻弄される」という状況が多いようです。ISOを効果的なものにし、真に経営に役立つツールとするためには、重複するシステムやプロセス上のムダを取り除く必要があります。ISOのシステム統合は、そのための非常に有効な手段といえます。

今回はISO9001とISO14001の2つのISOマネジメントシステムの統合化について、基本的な考え方から導入手順、運用に当たってのノウハウまでを、模擬実習を交えて解説いたします。知識はもちろんのこと、具体的な実務能力も身につけていただける実践的な内容です。貴社のISOシステムの有効活用を目指し、ぜひご参加ください。

《会場のご案内》

地下鉄・本町⑩出口から直結

【主催】 社団法人 大阪府工業協会 〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-3-6
電話：06-6251-1138 / FAX：06-6245-9926 / E-mail：sinko@opmia.or.jp